

社会科 学習指導案

高石市立東羽衣小学校
指導者

1. 日時 2025年11月28日(金)第5時限
2. 学年・組 第3学年2組(36名)
3. 単元名 「交通事故や事件から人びとを守る」(日本文教出版)

4. 単元目標

・警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解することができる。

・見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめることができる。【知識及び技能】

・警察署などの施設・設備などの配置、緊急時への対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することができる。【思考・判断・表現】

・交通安全や防犯に関心を持ち、学習したことをもとに地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることを考えようとしている。【学びに向かう力・人間性等】

5. 教材観

交通事故や事件についての資料をもとに、市民の安全を守る警察署の取り組みについて見通しをもって調べるとともに、学校のまわりの安全を守る施設や設備、地域の人々の取り組みについて調べ、地域の安全を守る関係諸機関の働きや人々の工夫や努力、法やきまりを考える。その上で、子どもたち自身も地域の一員として事件や事故を未然に防ぐための取り組みについて「自分ごと」として考える力を育成する。

6. 児童観

本学級の児童は、自立心が育ち始め学校内外において自分で行動する機会が増えている。その一方で、危険予測や判断力は未熟な部分があり、安全に対する意識はまだ十分とはいえない。また、1学期の市内巡りの学習をきっかけに身近な人の仕事に興味を持ち始めており、この単元を通して、子どもたち自身が身近なものとして事故や事件に向き合い、社会の安全に関心をもつきっかけを与えたい。

7. 指導観

本単元では、交通事故や事件を単なる知識としてではなく、自分にも起こりうることと実感できるように指導していく。そのために、自分たちの安全を守ってくれている警察署の見学やインタビュー、自分たちの校区や通学路で行われている取り組みや実際の施設や設備などを基に身近な経験・体験を大切にしていきたい。

その上で、自分たちが学び・考えたことを他学年の児童に伝える活動を通して、児童自身が地域の安全を守るための一員として主体的に取り組めるようにしていきたい。

8. 本単元の学習の関連と発展

● 「安全なまち」

3年:地域の安全や防災活動について、身近な事例を通して学ぶ。

4年:「自然災害から人々を守る活動」として、地図や年表で過去の災害や対策を調べ、地域や関係機関が協力して災害に備えてきたことを学ぶ。

5年:国土や自然環境と国民生活の関り、災害時に自分の命を守る行動や地域・国の防災の仕組みについて学ぶ。

6年:世界や日本の人々とともに生きる視点から、災害時の支援や協力の大切さを考える。

9.単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・警察署などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などについて、警察署などの関係機関や関連する施設を見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。</p> <p>・調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故や事件などの防止に努めていることを理解している。</p>	<p>・警察署などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いと見だし、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。</p> <p>・地域の安全のために連携・協力している関係機関の働きを分類したり、関連づけたりして、関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を考え、学習したことを基に地域や自分自身を守るためにできることを考えたり選択・判断したりして表現している。</p>	<p>・事故や事件から地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>・交通安全や防犯に関心を持ち、学習したことを基に地域の安全を守るために自分たちができることを考えようとしている。</p>

10.単元の指導と評価の計画（社会 7 時間/総合 3 時間）[情報活用能力ステップシート→情]

時	学習内容	主な評価規準 ◎指導に生かす評価○記録に残す評価
第1時	<p>【個】・高石市の交通事故や事件の件数から地域の安全を守るための働きについての学習計画をたてる。</p> <p>【個】・学びたいことや、知りたいことのカードを作成する。</p>	<p>・事故や事件から地域の安全を守る働きについて予想や学習計画を立て、自分が学びたいこと・知りたいことをカードに記述している。【主】（◎カード）</p>
第2・3時	<p>高石警察署の見学（総合）</p> <p>【協】見学で学んだことをカードにして、分類する。（ICT）</p>	<p>・警察署などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などについて、警察署などの関係機関や関連する施設を見学したことをもとに警察の仕事についてカードに記述している。【知・技】（○カード）</p> <p>・警察署などの施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、警察がどのような仕事をしているのかを考え分類している。【思・判・表】（◎Yチャート）</p>
第4時	<p>【個】【協】自らの校区・登下校の危険な所や危険な経験をした所を付箋に書き、白地図に貼る。</p> <p>・どのような所が危険なのか考える。（見通しの悪い交差点、交通量の多い道路など）</p>	<p>・自らの校区・登下校の、危険な所や危険な経験をした所を付箋に書き、どのような所が危険なのか考えている。【主】（○付箋、◎発言）</p>

第5・6時	<p>【個】【協】付箋を貼った白地図に安全を守るために市役所やPTAなどの関係機関が相互に連携（見守り隊、緊急避難の家）したり、身の周りの施設や設備（道路標識、カーブミラー、信号など）を配置したりしている取り組みがわかる写真を貼る。</p> <p>・危険な所と安全への取り組みをしている所を白地図で俯瞰して見て、関連していることや気づいたことを考える。</p>	<p>・白地図に警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故や事件などの防止に努めていることを理解している。【知・技】（◎発言）</p> <p>・警察などと連携・協力している関係機関の働きを比較・分類したり、関連づけたりして警察署などの関係機関の相互の関連を考えたり、関係機関に従事する人々の活動と地域の人々の生活を考えている。【思・判・表】（○ノート）</p>
第7時（本時）	<p>【個】白地図にまとめたことをもとに地域や自分自身の安全を守るためにできることを自ら選択した思考ツールで考え、他の児童の意見や考えを選択・判断してまとめる。【情 1-D-2】</p>	<p>・警察などと連携・協力している市役所やPTAなどの関係機関の働きを分類したり、関連づけたりして考えたことをもとに地域や自分自身の安全を守るためにできることを思考ツールで考えたり、他の児童の意見や考えを選択・判断したりしてまとめ、表現している。【思・判・表】（ロイロノート、まとめカード）</p> <p>・学習したことを基に地域の安全を守るために自分にできることを自ら選択した思考ツールを用い、考えようとしている。【主】（○ロイロノート）</p>
8	<p>【協】低学年の児童が安全に過ごせるように紹介する。【情 1-D-2】</p>	<p>紹介する方法（紙芝居、スライド、チャート、ポスター）を自ら選択し、危険な理由や安全な理由が伝わるように考え、表現している【思・判・表】</p>

11. 本時の展開

（1）本時の目標

- ・地域の交通安全を守るために自分にできることを考え、表現することができる。

（2）本時の評価規準

・警察などと連携・協力している市役所やPTAなどの関係機関の働きを分類したり、関連づけたりして考えたことを基に地域や自分自身の安全を守るためにできることを自ら選択した思考ツールを用いて考えたり、他の児童の意見や考えを選択・判断したりしてまとめ、表現している。【思・判・表】

・学習したことを基に地域の安全を守るために自分にできることを自ら選択した思考ツールを用い、考えようとしている。
【主体】

（3）情報活用能力ステップシート【1-D-2】

情報を比較したり、関係づけたりして、自分の考えや意見を表現できる。

（4）本時の判断基準

十分満足できる状況(A)	おおむね満足できる状況(B)	努力を要する子どもへの支援(C)
他の児童の意見を取り入れながら、自分の考えを深めることができている。	他の児童の意見を参考に自分の考えを持つことができている。	今までの学習をふりかえり、生活の中で気を付けて行動していることを考えさせる。友だちの意見を取り入れるように促す。

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容	指導上の留意点 ☆支援を要する児童への手立て	評価規準 ○指導に生かす評価◎記録に残す評価
導入 (5分)	前時(白地図)をふりかえり、 どんな所に安全のための施設や設備があるか、どんなところが危険なのかを確認する。	白地図や写真などを活用し、視覚的に分かるように学習内容をふりかえる。	
展開 (35分)	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> みんなが安全に過ごすために自分たちができることを考えよう。 </div>		
	○今日の授業の流れを確認する。		
	○自分の考えをまとめるために活用する思考ツールを決める。 ・クラゲチャート ・ピラミッドチャート ・ウェビングマップ	・3つの思考ツールを提示して、その中から一つ選択させる。	○学習したことを基に地域の安全を守るために自分にできることを自ら選択した思考ツールを用い、考えようとしている。【主体】
	○【個】安全に過ごすために自分たちにできることについて、自分の考えをそれぞれ選んだ思考ツールにまとめていく。 (ロイロノート)	☆これまでの学習を想起させ、生活の中で気を付けていることを考えるように声かけする。	
	○【協】自分の考えを共有し、考えや意見を友だちと交流する。	☆自分の考えをうまくまとめることができていない児童には、友だちの考えや意見を見て、良いなものや共感できるものを取り入れるように声かけをする。	
まとめ (5分)	○【個】友だちと交流し、友だちの考えや意見を活用して、情報の取捨選択をし、自分の考えを深めていく。 (ロイロノート)		
	○【個】自分の考えをまとめた思考ツールを活用し、カードを作成する。(ロイロノート) 【情】【I-D-2】	・カードに作成するときには、相手に伝わるように、文章の長さに注意するように声かけをする。	◎警察などと連携・協力している市役所やPTAなどの関係機関の働きを分類したり、関連づけたりして考えたことを基に地域や自分自身の安全を守るためにできることを自ら選択した思考ツールを用いて考えたり、他の児童の意見や考えを選択・判断したりしてまとめ、表現している。【思・判・表】 (ロイロノート)

